



記入日	西暦 2020 年 1 月 7 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	京都市立正親小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	②
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	守るぞ正親のまち ぼくらジュニア防災隊 もしも大災害が起こったら、ぼくは生きる、みんなを守る ステージ②「防災の方法を探究しよう」
実践担当者のお名前	辻元 博子 葉武 佐加恵

実践にかかった金額	200000 円
実践の準備にかかった時間	10 時間
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 5 月～西暦 2019 年 7 月
実践の所要時間	9 時間
実践の運営側で動いた人の人数	20 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 36 人
実践を行った都道府県と市区町村	京都府 京都市
実践を行った具体的な場所	京都市立正親小学校 教室・校庭・地域の路地
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	左官・住宅関連・市役所まちづくり課

達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	災害に強い町とはどんな町なのか。普段通学している道は安全なのかどうかを調べるとともに、自分たちの住む町が災害に強いのかどうかを実際に町歩きをして調査する。同時に防災かまどを作成する。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	学びに向かう力・人間性	大いに



実践内容・方法

これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください
適宜写真や図表等を入れていただいて構いません

○通学路が安全か確かめに行こう。

「落ちてこない・倒れてこない・動いてこない」の視点で自分たちの通学路が安全であるかどうか、同じ帰り道の友達と一緒に調査した。「あの場所は危ないな。」「この自動販売機は固定されている。」「ここで地震があったら、ここに逃げるといいな。」など普段見つけれないことまで気が付き、さらに町全体の安全について知りたくなった。



○防災に強い町や、家ってどんなのだろう。

市役所の街づくり推進課の方に「災害に強いということはどういうことか」という話を聞いた。密集市街地という言葉とともに、その良さと問題点を教えてもらい、「まち・みち・ひと」が大切であることを知った。

また、正親の町でも安全な町になるような取り組み（避難扉・路地の入口の耐震化など）に取り組んでおられることを知った。



3 行き止まりの道に避難扉を設置



4 ヒヤン（ひなん）しやすくなったニャ

扉があると安全に避難できるニャ



6 路地の入口を耐震・防火改修



入口の建物が地震に強いと安全に避難できるニャ



○地域の人と一緒に町歩きをして安全かどうかを確かめよう



自分たちの地域の良さと課題を知った子供たちは実際に町を調べてみたくなった。そこで、地域の方々に協力をしていただき、防災の視点で街を巡った。普段近所でも袋小路になっている路地などには子どもたちは行かないので、路地奥の空き家の問題や崩れかかっている家など問題点を目の当たりにすることになった。反面、路地の突き当りに抜けられる防災扉が設置されていたり、トンネル路地の入口を崩れにくくなるように補強されていたりするなど、地域が対策をとっていることにも気づいていった。



○防災マップを作ろう。

調べてきた調査をもとに、防災マップを作製し、地元の防災訓練で発表した。地域の人々は子どもたちの発表に食い入るように見ておられ、「気を付けないといけないな。」「よく調べたな。」と感心し、褒めてくださった。



○防災かまどを作ろう

防災のことに意識が高くなっている子どもたちは校長からの「台風21号で完全につぶれてしまった防災かまどを直してほしい」という要望に二つ返事で承諾し、全部外して、一から組み立て直した。



		
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	防災に自分事に、本気になって取り組むようになった子供たちは実際の町を歩いて調査することで、「大変だ。何とかしないと、大きな地震が来たらどうしようもない。」そこで、自分たちで何とかできることはないかという新たな課題が見つかった。	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	まちを歩いて調べるのも、それをまとめるのにも思ったより時間がかかる。特に、マップにまとめることは今年度は時間がなかったのも、より良いものとして発表するほどのクオリティーを出すことが難しかった。地元の人に町探検をお願いしたが、人によってまた場所によって話していただく内容が異なり、それを交流することにも時間がかかった。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について 1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください	
関係者の名前・団体名	サンワコン株式会社
関係者の説明	地域がお世話になっているコンサル会社
関係者の連絡先	0776-32-6178 090-2120-6623

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について 1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください	
関係者の名前・団体名	相澤 恵 京都市役所都市計画局 まち再生推進室
関係者の説明	住みよいまちづくり・災害に強いまち・みち・家について
関係者の連絡先	075-222-3503